

地域学校協働連携NEWS

こちらのQRコードから、閲覧・ダウンロードができます→



里山自然塾 ～下郷町立下郷中学校～

5月23日(金)、下郷中学校2年生の総合的な学習の時間において実施した自然体験学習「里山自然塾」取材しました。下郷中学校では昨年度から、生徒の自然に親しもうとする態度、地域の自然を保全していこうとする態度を育てることを目的に、地域で活動する「福島県もりの案内人(以下、もりの案内人)」と一緒に里山を散策する活動を行っているそうです。

もりの案内人の方々の説明を聞いて感嘆の声をもらす生徒、実際に植物を触ってじっくりと観察する生徒、中には里山に落ちているゴミを拾う生徒の姿も。子供たちのそのような姿から、「自然から多くのことを学んでほしい。」「倫理や道徳についても考えてほしい。」という小椋さんの思いが伝わっているということを感じました。



「もりの案内人」とは…

福島県に認定されたボランティアによる指導者です。自然観察会や森林づくり活動などを通して、一緒に学びながら森林の役割や大切さを広く県民に伝えています。



<下郷中学校生徒の感想>

里山を案内してもらい、自然のこと、歴史のことなどたくさんのが分かりました。自然を活用しながら私たちは生活しているということを知り、奥が深いと思いました。



<下郷中学校生徒の感想>

もりの案内人の方の話聞いて、自分の生き方についても考えることができました。「自分のことだけではなく、他の人のことも考えて生きる。」という言葉が印象に残りました。



<下郷中学校教諭より>

下郷町にこんな場所があるのだという新たな発見になればと思います。小学校の時に来たことのある生徒もいるようですが、何度来ても新しい発見があると思います。次の学びにつながる体験になりました。

講師はもりの案内人の3名が務めました。下郷町だけではなく、南会津町、只見町に住む方もいらっしゃいます。

3人の話す内容や説明の切り口はそれぞれ違い、植物の特徴から活用方法、里山の歴史、他地域との違い、SDGs、人生の教訓など多岐に渡ります。子供たちの多面的・多角的な学びにつながっていますね。



<講師の湯田さん、古川さん、小椋さん(左から)>